

教員:後藤 昭 (主任講師)

講義概要

法廷通訳実践Iで学んだ刑事法のほかに、家族や契約などに関する民事の法律についても、司法通訳が知っておくべき知識を解説します。法廷通訳に必要な倫理も学びます。その上で、模擬法廷を使って、証人尋問、被告人に対する質問、検察官の弁論、弁護人の弁論、判決言い渡しなど、刑事裁判のいろいろな場面での通訳を体験します。

達成目標

刑事法のほかにも司法通訳に必要な法律知識を身につける。刑事裁判の法廷での通訳を体験する。

履修条件 (前に履修しておくことが望ましい科目など)

通訳対象言語について、相当な語学力があること。法廷通訳実践Iを履修していること。

授業計画

1	授業計画	家族関係についての法(1)
	事前学習	事前配布教材を読む
	事後学習	web上のクイズに答える
2	授業計画	家族関係についての法(2)
	事前学習	事前配布教材を読む
	事後学習	web上のクイズに答える
3	授業計画	借家法
	事前学習	事前配布教材を読む
	事後学習	web上のクイズに答える
4	授業計画	労働法
	事前学習	事前配布教材を読む
	事後学習	web上のクイズに答える
5	授業計画	入管法
	事前学習	事前配布教材を読む
	事後学習	web上のクイズに答える
6	授業計画	民事訴訟と調停・家事審判
	事前学習	事前配布教材を読む
	事後学習	web上のクイズに答える
7	授業計画	民事法の理解確認試験
	事前学習	民事法についての復習
	事後学習	間違ったところを見直して正解を理解する
8	授業計画	法廷通訳の倫理
	事前学習	事前配布教材を読む
	事後学習	web上のクイズに答える
9	授業計画	証人尋問の通訳体験(1)
	事前学習	事前配布資料を見て、通訳の方法を考える
	事後学習	授業を振り返って通訳の方法をもう一度考える
10	授業計画	証人尋問の通訳体験(2)
	事前学習	事前配布資料を見て、通訳の方法を考える
	事後学習	授業を振り返って、通訳の方法をもう一度考える
11	授業計画	被告人質問の通訳体験(1)
	事前学習	事前配布資料を見て、通訳の方法を考える
	事後学習	授業を振り返って、通訳の方法をもう一度考える
12	授業計画	被告人質問の通訳体験(2)
	事前学習	事前配布資料を見て、通訳の方法を考える
	事後学習	授業を振り返って、通訳の方法をもう一度考える
13	授業計画	論告・弁論の通訳体験
	事前学習	事前配布資料を見て、通訳の方法を考える
	事後学習	授業を振り返って、通訳の方法をもう一度考える
14	授業計画	判決言い渡しの通訳体験
	事前学習	事前配布資料について通訳の方法を考える
	事後学習	授業を振り返って、通訳の方法をもう一度考える
15	授業計画	刑事裁判と通訳倫理の理解確認試験
	事前学習	刑事法と通訳倫理について復習する
	事後学習	試験で間違った部分の正しい答えを確認する

授業方法

講義は、講師と受講者のやり取りを交えた双方向で行います。通訳体験は、受講者が参加します。

成績評価方法

理解確認試験の点数、体験授業で発揮した技量、および平常点で成績を評価します。